

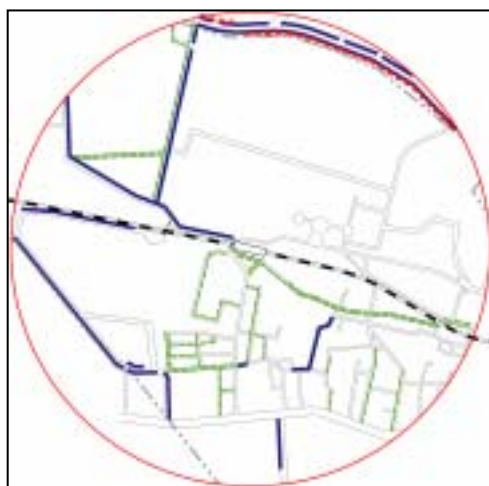
2. 福祉のまちづくり推進地区の地区別構想

(1) 駒場東大前駅周辺地区

駅の南北に高校や大学などの文教施設や駒場公園、駒場野公園など区民の憩いの場があります。また、東西方向と南へ延びる道路には商店街が形成されています。

駅西口にエレベーターがありますが、だれでもトイレはありません。

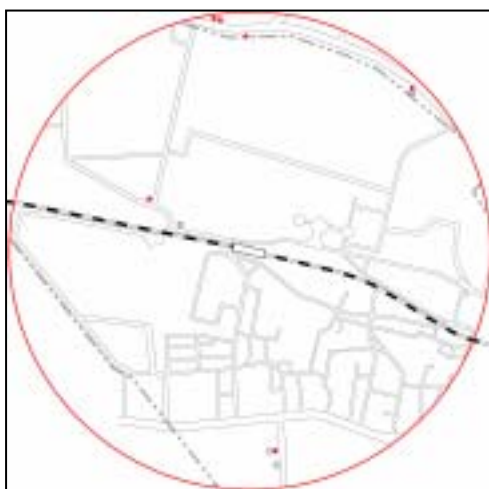
ア 道路の現状と問題点



< 道路形状 >

- ・ 駅に接続する北側の道路に歩道があります。

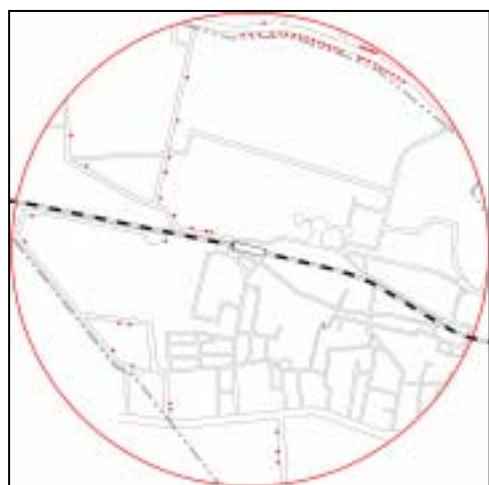
凡 例			
— (solid blue line)	マウントアップ方式	— (dashed green line)	白線のみ
— (dashed green line)	セミフラット方式	— (dotted blue line)	マウントアップ+白線
— (dotted blue line)	フラット方式	— (dotted red line)	有効幅員2m以上
— (dotted red line)	緑石・白線がなくガードレールのみ		



< 歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配 >

- ・ 特に問題となる箇所はありません。

凡 例	
交差点のすりつけ部	
● (red dot)	すりつけ段差が2cmを超える
○ (blue circle)	すりつけ勾配が5%を超える



< 歩道：横断勾配 >

- ・ 駅北側の駒場公園に至る区道に基準を満たしていない箇所があります。

凡 例	
横断勾配	
● (red dot)	1%を超える

イ 地区別方針

- ・ 駅の西口に続き、他の改札口のバリアフリー化をさらに進め、あわせて駅前広場機能の確保を検討していきます。駅舎にだれでもトイレを設置していきます。
- ・ 通学等の利用者が多い駅から南に向かう区道と、駒場公園に向かう区道を南北の軸とし、商店街のある区道を東西方向の軸とした歩行空間のバリアフリーネットワークを形成します。
- ・ 整備計画の作成にあたっては、駒場一丁目周辺地区の木造住宅密集地域整備事業を考慮していきます。

< 主要施設 >

駒場公園、駒場野公園、都立国際高校、都立駒場高校、東京大学教養学部、駒場住区センター、駒場老人いこいの家、特別養護老人ホーム駒場苑、国民年金中央会館、

< 主要経路 >

- ・ 駅と主要施設を結ぶ経路
- ・ 駅周辺地区の商店街に含まれる経路

対象となる商店街：駒場野商店会、駒場東大前商店会、駒場西口商店会

主要施設・主要経路イメージ図

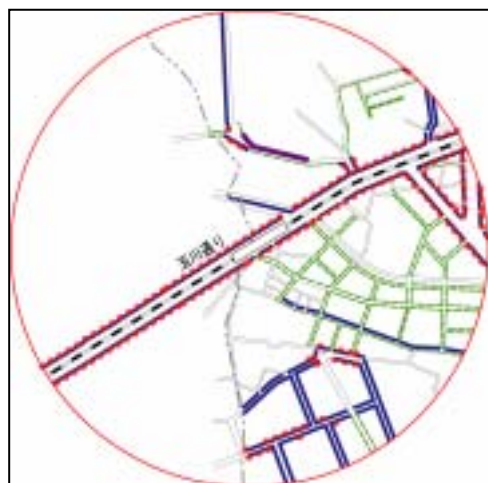


(2) 池尻大橋駅周辺地区

東邦大学医学部付属大橋病院や大橋図書館、北部地区サービス事務所などがあります。また、玉川通り（国道246号）沿道に商業施設や業務施設が集積しています。

首都高速道路中央環状新宿線のジャンクション整備や市街地再開発事業など、大規模な事業が計画されています。

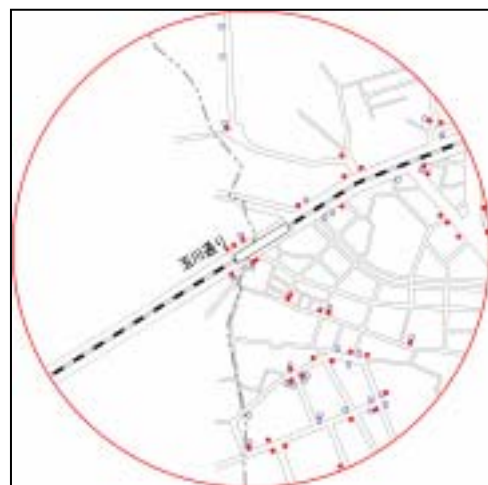
ア 道路の現状と問題点



<道路形状>

- ・玉川通りと山手通りに歩道があります。

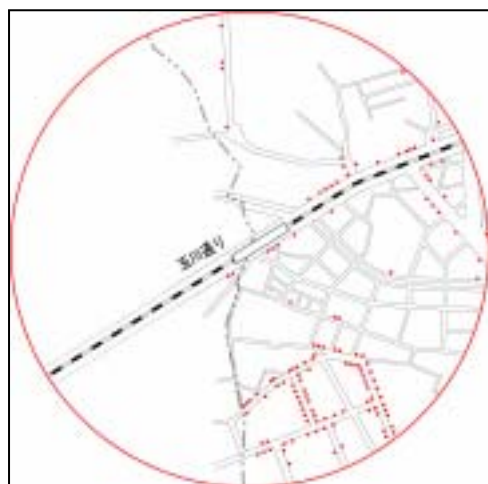
凡 例	
— (solid blue line)	マウントアップ方式
— (dashed green line)	白線のみ
— (dashed blue line)	セミフラット方式
— (dotted blue line)	マウントアップ+白線
— (dashed orange line)	フラット方式
— (dotted red line)	有効幅員2m以上
— (solid purple line)	縁石・白線がなくガードレールのみ



<歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配>

- ・玉川通りの一部で段差、勾配ともに基準を満たしていない箇所があります。

凡 例	
交差点のすりつけ部	
● (red dot)	すりつけ段差が2cmを超える
○ (blue circle)	すりつけ勾配が5%を超える



<歩道：横断勾配>

- ・玉川通り北側に基準を満たしていない箇所が多くあります。

凡 例	
● (red dot)	横断勾配 1%を超える

イ 地区別方針

- ・ 駅舎にエレベーターを設置していきます（平成16年度までにエレベーターの設置が予定されています）。
- ・ 駅周辺に広がる商店街と、首都高速道路中央環状新宿線のジャンクション整備にあわせた大規模な再開発事業計画がある玉川通りを軸に、東邦大学医学部附属大橋病院などを結ぶ歩行空間のバリアフリーネットワークを形成します。
- ・ 整備計画の作成にあたっては、「大橋一丁目周辺地区整備構想」を考慮していきます。

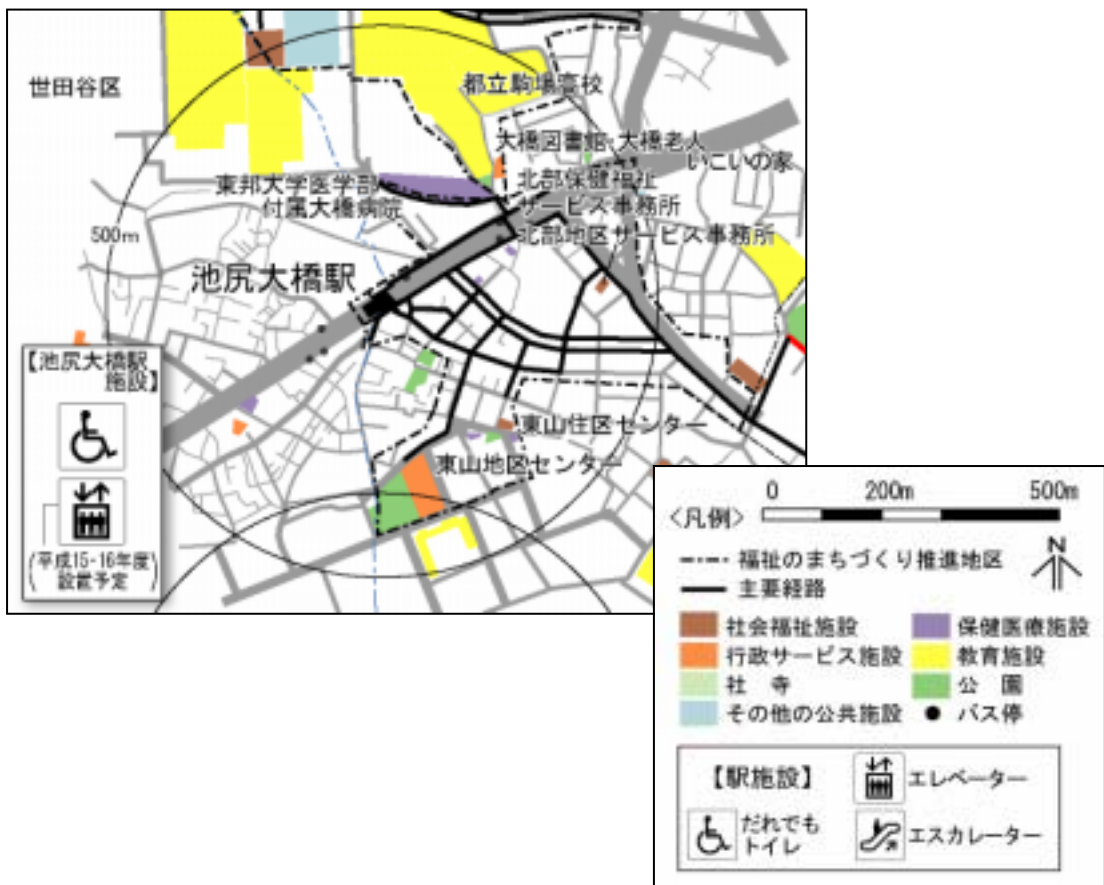
< 主要施設 >
 東邦大学医学部附属大橋病院、大橋図書館、大橋老人いこいの家、東山地区センター、東山住区センター、北部地区サービス事務所（北部保健福祉サービス事務所）

< 主要経路 >

- ・ 駅と主要施設を結ぶ経路
- ・ 駅周辺地区の商店街に含まれる経路

対象となる商店街：池尻大橋駅前商店会、大橋通り商友会

主要施設・主要経路イメージ図

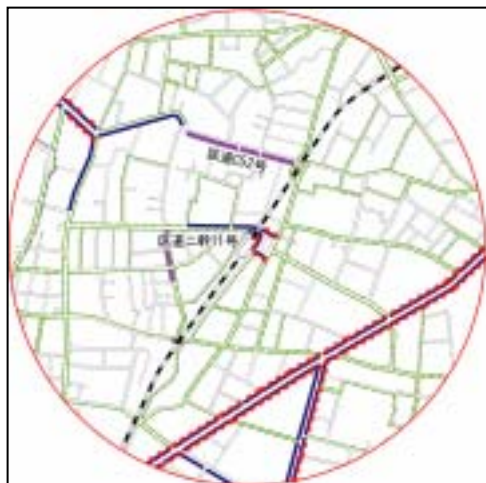


(3) 祐天寺駅周辺地区

駅東口には駅前広場が整備され、周辺に商店街が形成されています。また、守屋教育会館・守屋図書館や都立目黒高校などがあります。

駅にエレベーターはありますが、だれでもトイレはありません。

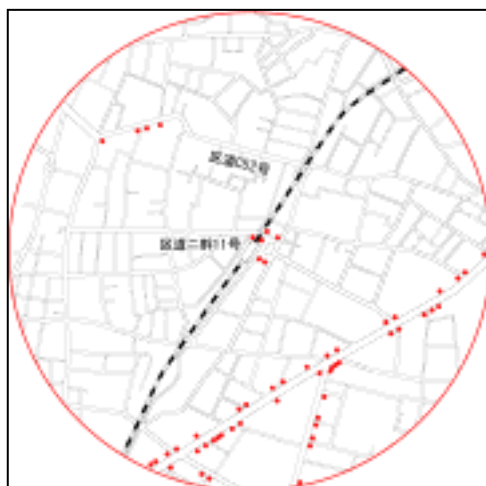
ア 道路の現状と問題点



<道路形状>

- ・ 祐天寺駅通り（区道二幹11号）の一部と駒沢通りに歩道があります。

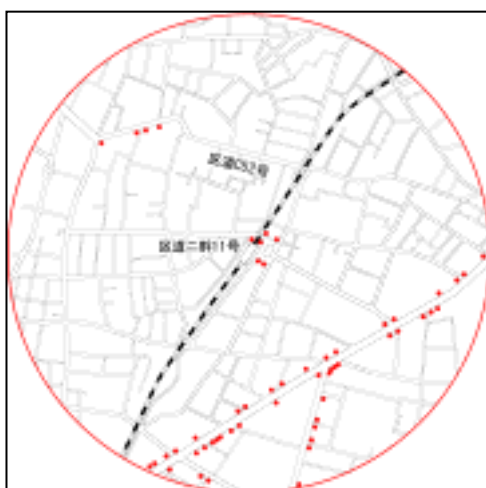
凡 例			
— (Blue line)	マウントアップ方式	— (Green line)	白線のみ
— (Green dashed line)	セミフラット方式	— (Blue dashed line)	マウントアップ+白線
— (Red dashed line)	フラット方式	— (Red dotted line)	有効幅員2m以上
— (Purple line)	緑石・白線がなくガードレールのみ		



<歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配>

- ・ 特に問題となる箇所はありません。

凡 例	
交差点のすりつけ部	
● (Red dot)	すりつけ段差が2cmを超える
○ (Blue circle)	すりつけ勾配が5%を超える



<歩道：横断勾配>

- ・ 駅前広場、駒沢通りに基準を満たしていない箇所があります。

凡 例	
横断勾配	
● (Red dot)	1%を超える

イ 地区別方針

- ・ 駅舎にだれでもトイレを設置していきます。
- ・ 駅周辺に広がる商店街と、目黒税務署、守屋教育会館などを結ぶ歩行空間のバリアフリーネットワークを形成します。
- ・ 整備計画の作成にあたっては、上目黒・祐天寺地区木造住宅密集地域整備事業や祐天寺栄通り地区 地区計画を考慮していきます。

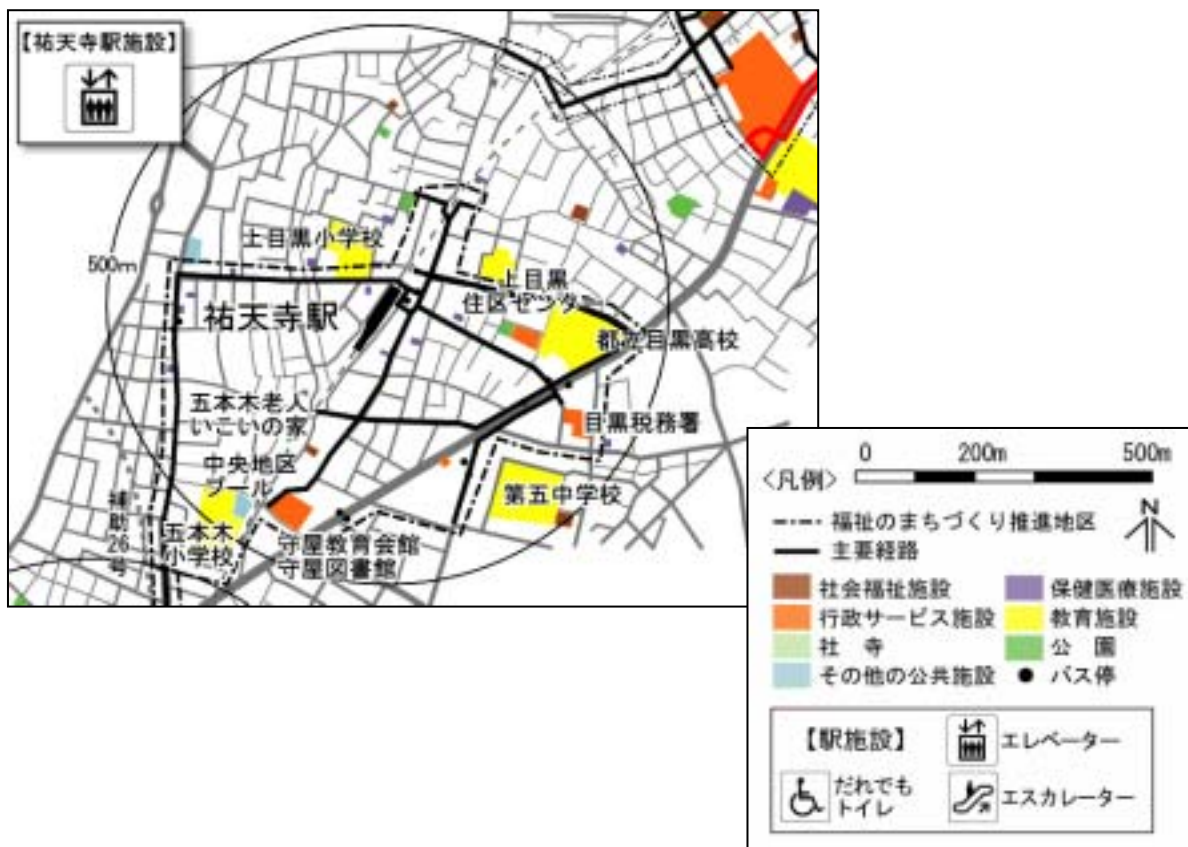
<主要施設>
 守屋教育会館、守屋図書館、都立目黒高校、中央地区プール、目黒税務署、上目黒住区センター、五本木老人いこいの家

<主要経路>

- ・ 駅と主要施設を結ぶ経路
- ・ 駅周辺地区の商店街に含まれる経路

対象となる商店街：祐天寺商店会、祐天寺みよし通り商店会、祐天寺栄通り商店街振興組合、祐天寺昭和通り商交会、五本木商店会、五本木一丁目商店会

主要施設・主要経路イメージ図



(4) 学芸大学駅周辺地区

駅を中心に商店街が形成されており、鷹番住区センターや碑文谷公園があります。
 駅にエレベーターとエスカレーターはありますが、だれでもトイレはありません。

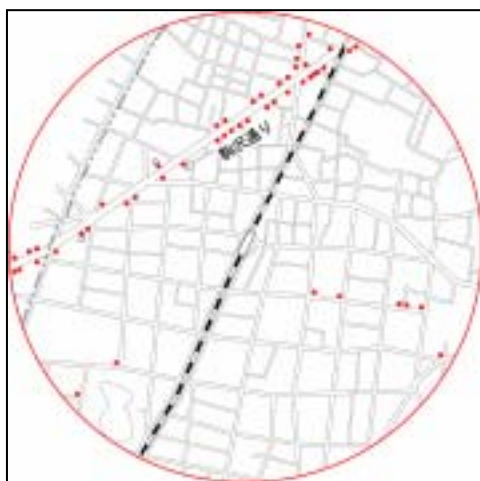
ア 道路の現状と問題点



<道路形状>

- ・駒沢通りに歩道があります。

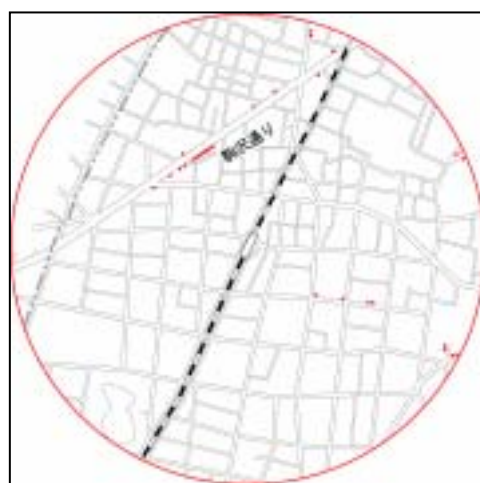
凡 例			
— (solid blue line)	マウントアップ方式	— (dashed green line)	白線のみ
— (dashed green line)	セミフラット方式	— (dotted blue line)	マウントアップ+白線
— (dashed red line)	フラット方式	● (red dot)	有効幅員2m以上
— (solid purple line)	縁石・白線がなくガードレールのみ		



<歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配>

- ・駒沢通りの交差点は、すりつけ段差基準を満たしていない箇所が多くあります。

凡 例	
交差点のすりつけ部	
● (red dot)	すりつけ段差が2cmを超える
○ (white circle)	すりつけ勾配が5%を超える



<歩道：横断勾配>

- ・駒沢通りの一部に横断勾配の基準を満たしていない箇所が集中しています。

凡 例	
横断勾配	
● (red dot)	1%を超える

第4 地区別構想

イ 地区別方針

- ・ 駅舎にだれでもトイレを設置していきます。
- ・ 駅周辺に広がる商店街と碑文谷公園などを結ぶ歩行空間のバリアフリーネットワークを形成します。

< 主要施設 >

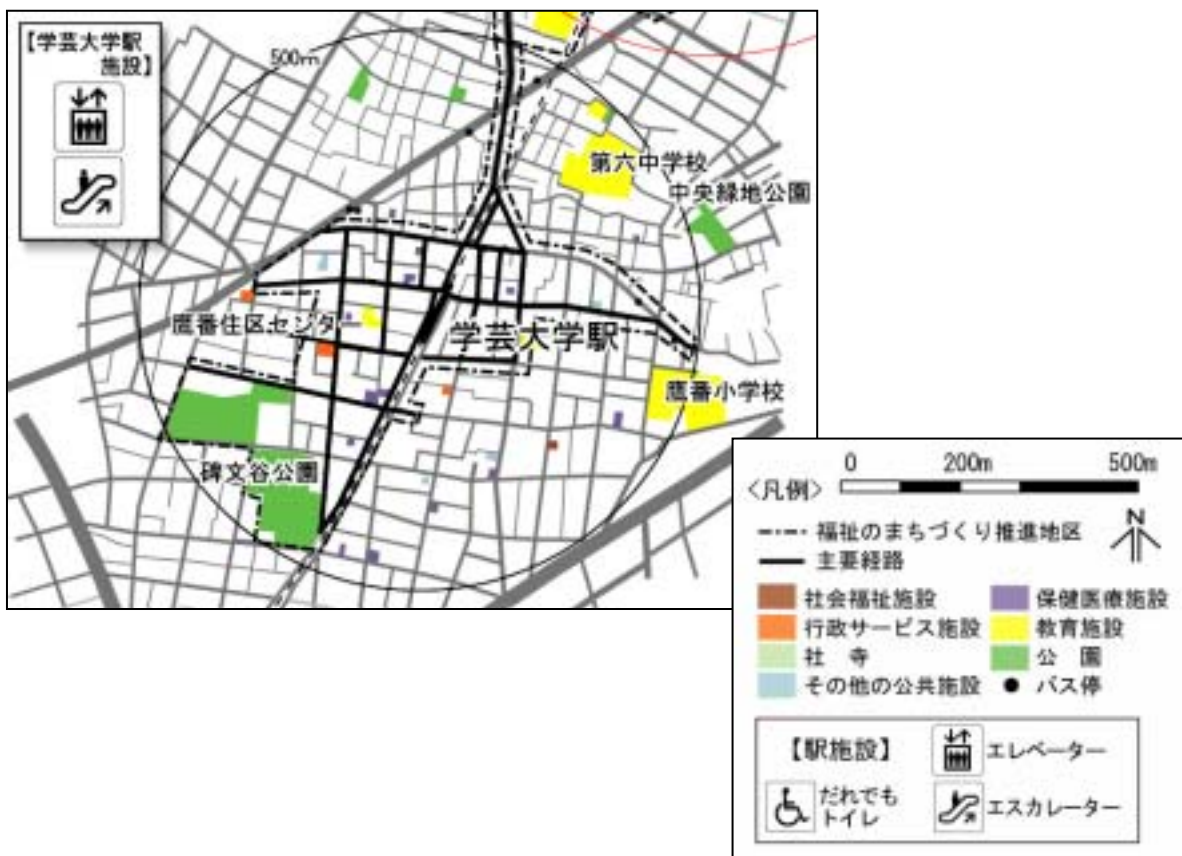
碑文谷公園、鷹番住区センター

< 主要経路 >

- ・ 駅と主要施設を結ぶ経路
- ・ 駅周辺地区の商店街に含まれる経路

対象となる商店街：鷹番三丁目本通り商店街振興組合、学大十字街商店街振興組合、学芸大学西口商店街振興組合、公園通り商栄会、学芸大学東口商店街振興組合、東急ショッピングコリドール会

主要施設・主要経路イメージ図

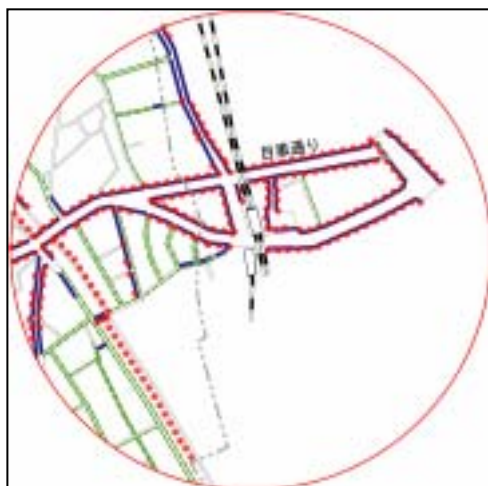


(5) 目黒駅周辺地区

駅舎は品川区にあります。目黒区を徒歩圏とする駅の中で乗降客数が最も多い駅です。

目黒川沿いに目黒区民センターや田道ふれあい館があります。また、目黒通り沿いには商業施設や業務施設が集積しています。

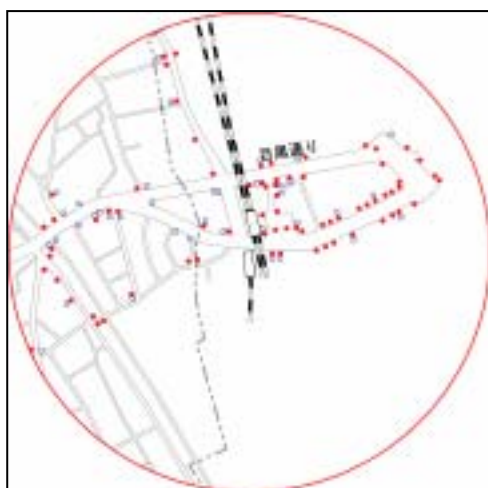
ア 道路の現状と問題点



<道路形状>

- ・ 目黒通りに歩道はありますが、勾配があります。
- ・ 目黒川沿いに歩行空間が確保された河川管理用通路があります。

凡 例	
— (solid blue)	マウントアップ方式
— (dashed green)	白線のみ
— (dashed blue)	セミフラット方式
— (dotted blue)	マウントアップ+白線
— (dashed red)	フラット方式
— (dotted red)	有効幅員2m以上
— (solid purple)	緑石・白線がなくガードレールのみ



<歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配>

- ・ 目黒通り、目黒川沿いの道路に段差基準を満たしていない箇所が多くあります。

凡 例	
交差点のすりつけ部	
● (red dot)	すりつけ段差が2cmを超える
○ (white circle)	すりつけ勾配が5%を超える



<歩道：横断勾配>

- ・ 目黒川沿いの道路の一部に勾配基準を満たしていない箇所があります。

凡 例	
横断勾配	
● (red dot)	1%を超える

第4 地区別構想

イ 地区別方針

- ・ 目黒通りに沿った商店街と目黒川の河川管理用通路を活用した、目黒区民センターなど中目黒方面と結ぶ歩行空間のバリアフリーネットワークを形成します。
- ・ 整備計画の作成にあたっては、目黒通りの整備や「目黒駅西口周辺地区整備構想(案)」を考慮し、品川区と連携していきます。

<主要施設>

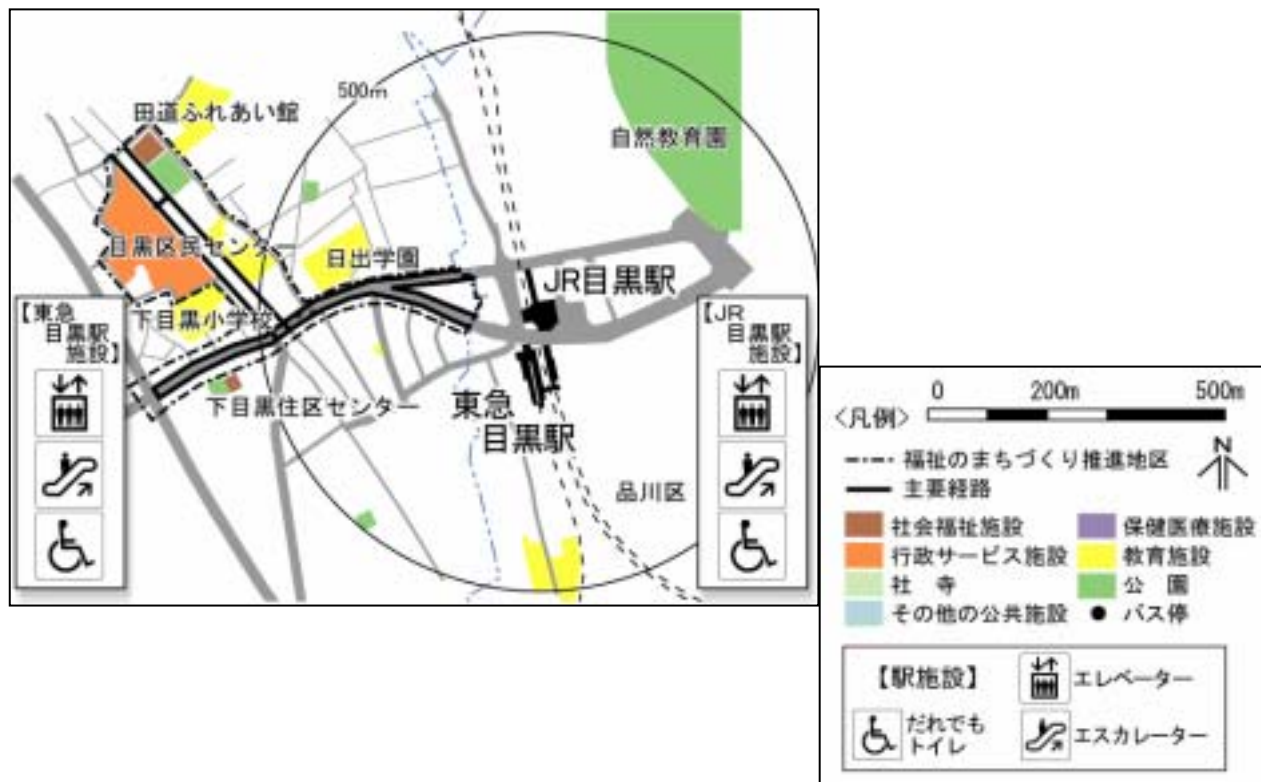
目黒区民センター(中小企業センター、消費生活センター、勤労福祉会館、社会教育館、図書館、体育館・プール・庭球場、児童館、児童館学童保育クラブ、目黒区美術館、目黒区中小企業勤労者福祉サービスセンター)、田道ふれあい館(田道住区センター、高齢者センター、田道高齢者在宅サービスセンター、目黒リサイクルプラザ、(社)目黒区シルバー人材センター)、下目黒住区センター

<主要経路>

- ・ 駅と主要施設を結ぶ経路
- ・ 目黒通り、目黒川河川管理用通路
- ・ 駅周辺地区の商店街に含まれる経路

対象となる商店街：権之助坂商店街振興組合、大鳥前商栄会、大鳥前元競馬場通り商店街振興組合

主要施設・主要経路イメージ図

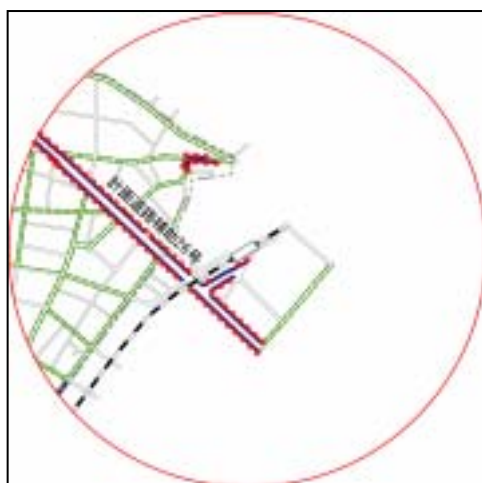


(6) 武蔵小山駅周辺地区

都立小山台高校や、清徳会・目黒本町高齢者在宅サービスセンターなどの福祉施設があります。また、駅周辺に商店街が形成されています。

駅舎は品川区にあります。エレベーター、だれでもトイレがありませんが、東急目黒線の立体化事業で整備が計画されています。

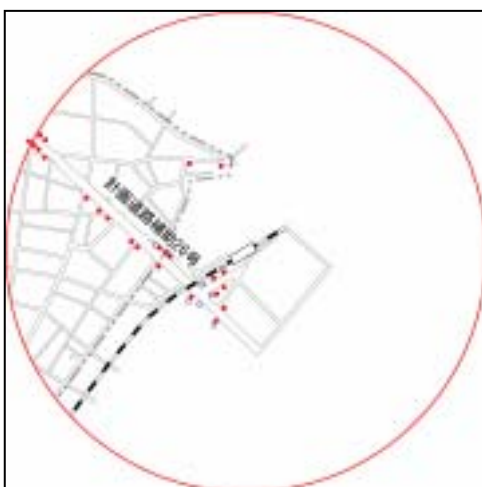
ア 道路の現状と問題点



< 道路形状 >

- ・ 都市計画道路補助 26 号に歩道があります。

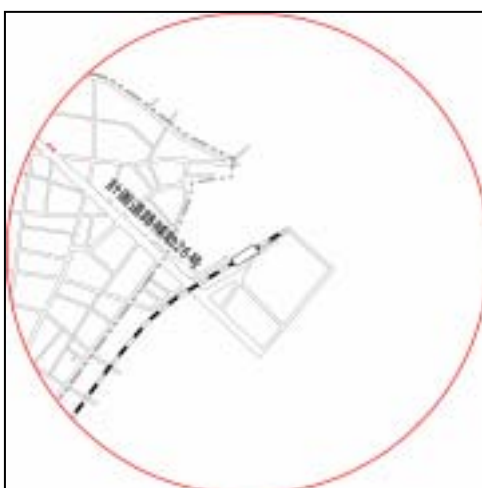
凡 例	
— マウントアップ方式	— 白線のみ
- - - セミフラット方式	— マウントアップ+白線
- - - フラット方式	● 有効幅員2m以上
— 緑石・白線がなくガードレールのみ	



< 歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配 >

- ・ 補助 26 号の歩道は段差基準、勾配基準を満たしていない箇所が多くあります。

凡 例	
交差点のすりつけ部	
●	すりつけ段差が2cmを超える
○	すりつけ勾配が5%を超える



< 歩道：横断勾配 >

- ・ 特に問題となる箇所はありません。

凡 例	
横断勾配	
●	1%を超える

イ 地区別方針

- ・ 東急目黒線の立体化事業にあわせて、駅舎のバリアフリー化を進めます。
- ・ 駅周辺に広がる商店街と清徳会の福祉施設などを結ぶ歩行空間のバリアフリーネットワークを形成します。
- ・ 整備計画の作成にあたっては、東急目黒線立体交差事業や都市計画道路補助 30 号、駅前広場（品川区）を考慮し、品川区と連携していきます。

<主要施設>
 清徳会（特別養護老人ホーム、ケアセンター、在宅介護支援センター）、清徳会目黒本町高齢者在宅サービスセンター、都立小山台高校（品川区）

<主要経路>

- ・ 駅と主要施設を結ぶ経路
- ・ 都市計画道路補助 26 号、補助 46 号
- ・ 駅周辺地区の商店街に含まれる経路

対象となる商店街：目黒本町五丁目栄通り商店会、武蔵小山西口商店街振興組合、目黒平和通り商店会、寿会、八光会商店街（品川区）

主要施設・主要経路イメージ図



(7) 西小山駅周辺地区

中央体育館、向原住区センターなどがあります。また、駅周辺に商店街が形成されています。

駅舎は品川区にあります。エレベーター、だれでもトイレはありませんが、東急目黒線の立体化事業で整備が計画されています。

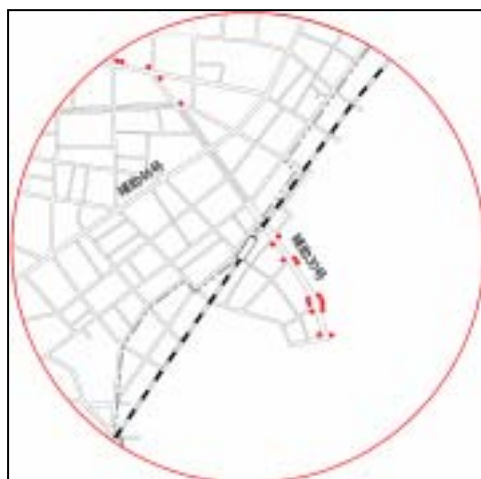
ア 道路の現状と問題点



< 道路形状 >

- ・ 品川区側の補助 30 号線には、歩道があります。
- ・ 補助 30 号線の北側に歩行空間の確保された立会川緑道があります。

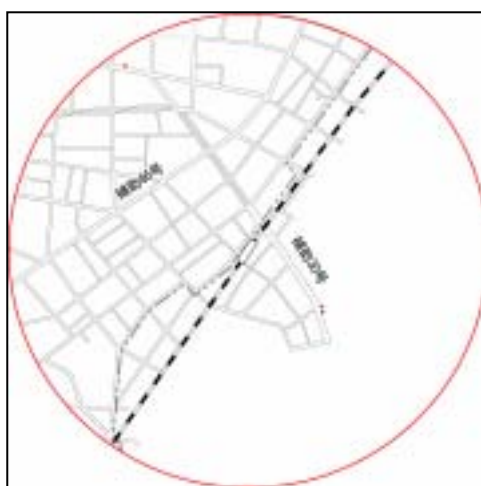
凡	例
— (blue)	マウントアップ方式
— (green)	セミフラット方式
— (red)	フラット方式
— (purple)	緑石・白線がなくガードレールのみ
— (green dashed)	白線のみ
— (blue dotted)	マウントアップ+白線
●●● (red)	有効幅員2m以上



< 歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配 >

- ・ 駅付近には段差により分離された歩道が無いいため、問題箇所は少ないです。

凡	例
交差点のすりつけ部	
● (red)	すりつけ段差が2cmを超える
○ (white)	すりつけ勾配が5%を超える



< 歩道：横断勾配 >

- ・ 特に問題となる箇所はありません。

凡	例
● (red)	横断勾配 1%を超える

イ 地区別方針

- ・ 東急目黒線の立体化事業にあわせて、駅舎のバリアフリー化を進めます。
- ・ 駅周辺に広がる商店街と中央体育館などを結ぶ歩行空間のバリアフリーネットワークを形成します。
- ・ 整備計画の作成にあたっては、東急目黒線の立体化事業や都市計画道路補助30号、駅前広場（品川区）の整備などとあわせ、目蒲線沿線整備構想を考慮し、品川区と連携していきます。

<主要施設>
 中央体育館、向原住区センター

<主要経路>

- ・ 駅と主要施設を結ぶ経路
- ・ 鉄道上部空間を活用する経路
- ・ 都市計画道路補助30号
- ・ 駅周辺地区の商店街に含まれる経路

対象となる商店街：西小山弁天通り睦会、西小山えびす通り商店会、西小山商店街振興組合、西小山ニコニコ通り商店会、洗足北共栄会、共栄会

主要施設・主要経路イメージ図



(8) 洗足駅周辺地区

洗足図書館や昭和大学歯科病院（大田区）などがあります。また、駅から東西方向に商店街が形成されています。

東急目黒線の立体化事業にあわせて、洗足商店街沿道および目黒線上部利用の整備が予定されています。

ア 道路の現状と問題点



<道路形状>

- ・ 円融寺通り（一幹 14）の一部と東急目黒線に平行する区道 F136、F138 号に歩道があります。

凡 例	
— (solid blue)	マウントアップ方式
— (dashed green)	白線のみ
— (dashed blue)	セミフラット方式
— (dotted blue)	マウントアップ+白線
— (dashed red)	フラット方式
● (red)	有効幅員2m以上
— (solid purple)	縁石・白線がなくガードレールのみ



<歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配>

- ・ 交差点部で段差基準、勾配基準を満たしていない箇所があります。

凡 例	
交差点のすりつけ部	
● (red)	すりつけ段差が2cmを超える
○ (white)	すりつけ勾配が5%を超える



<歩道：横断勾配>

- ・ 特に問題となる箇所はありません。

凡 例	
横断勾配	
● (red)	1%を超える

第4 地区別構想

イ 地区別方針

- ・ 駅周辺の環境整備を推進していきます。
- ・ 駅周辺に広がる商店街と洗足図書館などを結ぶ歩行空間のバリアフリーネットワークを形成します。
- ・ 整備計画の作成にあたっては、東急目黒線の立体化事業や目蒲線沿線整備構想を考慮し、近隣区と連携していきます。

<主要施設>

洗足図書館、昭和大学歯科病院（大田区）

<主要経路>

- ・ 駅と主要施設を結ぶ経路
- ・ バスターミナル、鉄道上部空間を活用した経路、円融寺通り
- ・ 駅周辺地区の商店街に含まれる経路

対象となる商店街：洗足商店街振興組合、原町親交会

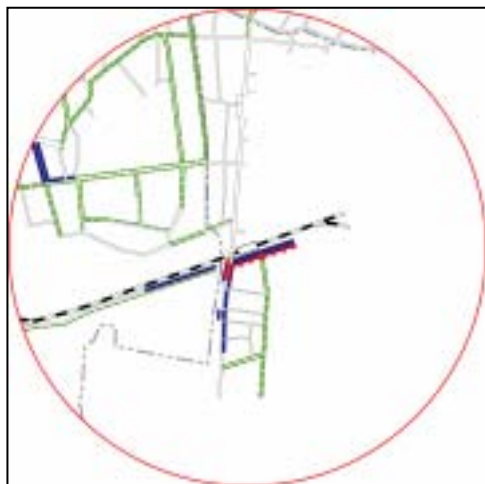
主要施設・主要経路イメージ図



(9) 大岡山駅周辺地区

東京工業大学、東急病院などがあります。また、駅北側に商店街が形成されています。駅舎は大田区にあります。駅前広場はありませんが、大岡山駅周辺地区整備構想で検討されています。

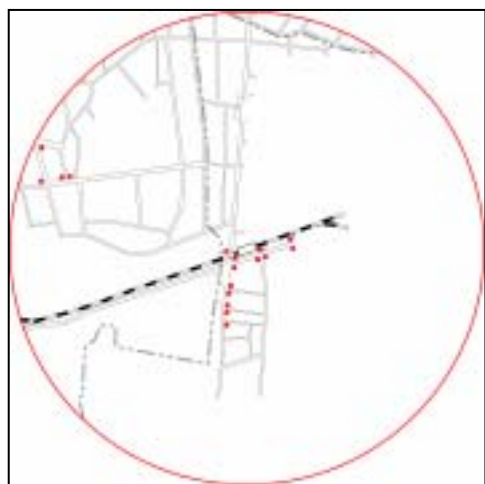
ア 道路の現状と問題点



< 道路形状 >

- ・ 駅南側の一部に歩道があります。

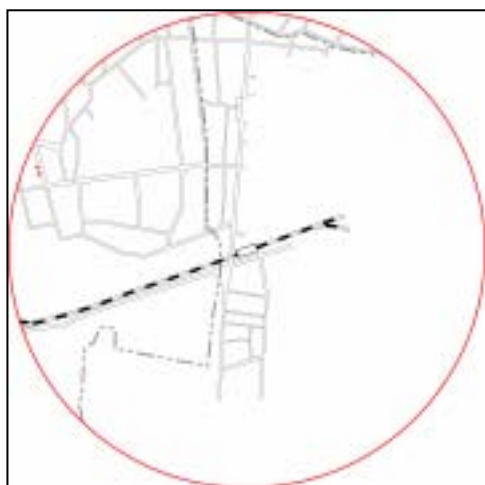
凡 例	
— (solid blue line)	マウントアップ方式
— (dashed green line)	白線のみ
— (dashed green line with blue dots)	セミフラット方式
— (dotted blue line)	マウントアップ+白線
— (dashed orange line)	フラット方式
— (dotted red line)	有効幅員2m以上
— (solid purple line)	縁石・白線がなくガードレールのみ



< 歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配 >

- ・ 歩道がある区間の多くで、段差基準を満たしていません。

凡 例	
交差点のすりつけ部	
● (red dot)	すりつけ段差が2cmを超える
○ (white circle)	すりつけ勾配が5%を超える



< 歩道：横断勾配 >

- ・ 特に問題となる箇所はありません。

凡 例	
横断勾配	
● (red dot)	1%を超える

第4 地区別構想

イ 地区別方針

- ・ 駅近隣に立地する東急病院（大田区）や東京工業大学、南北方向の商店街を結ぶ歩行空間のバリアフリーネットワークを形成します。
- ・ 整備計画の作成にあたっては、大岡山駅周辺地区整備構想を考慮し、大田区と連携していきます。

<主要施設>

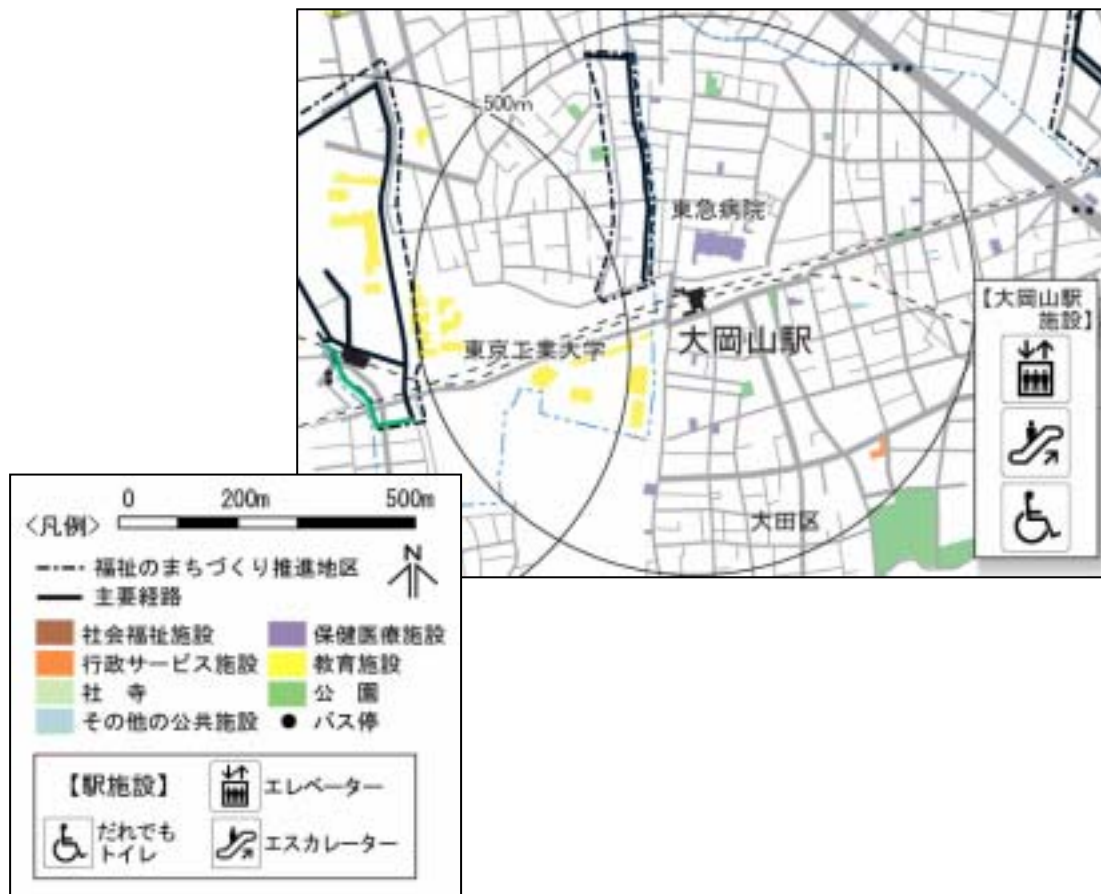
東京工業大学、東急病院（大田区）

<主要経路>

- ・ 駅と主要施設を結ぶ経路
- ・ 歩道の整備された幹線道路を結ぶ経路
- ・ 駅周辺地区の商店街に含まれる経路

対象となる商店街：大岡山北本通り商店街振興組合

主要施設・主要経路イメージ図



(10) 緑が丘駅周辺地区

東京工業大学があり、商店街が駅から北側に形成されています。また、区民の憩いの場である呑川緑道が西側へ延びています。

駅出入口に階段があり、エレベーターもだれでもトイレ也没有せん。

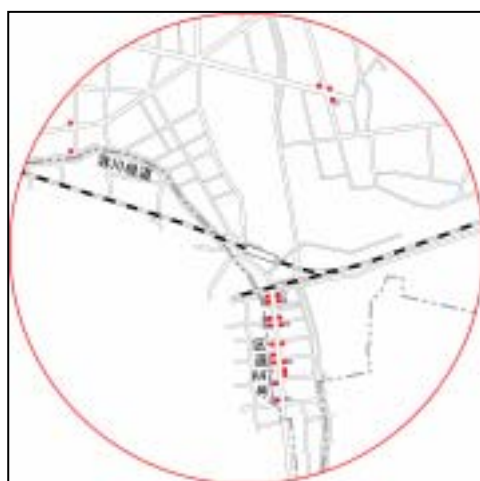
ア 道路の現状と問題点



<道路形状>

- ・ 区道 H47 号線に歩道があります。
- ・ 呑川緑道が歩行空間として確保されています。

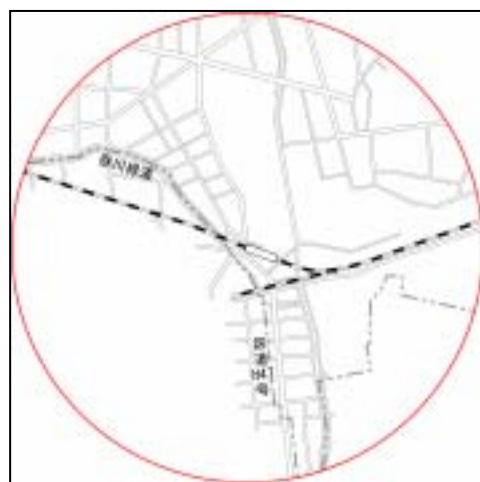
凡 例			
— (solid blue)	マウントアップ方式	— (dashed green)	白線のみ
— (dashed green)	セミフラット方式	— (dotted blue)	マウントアップ+白線
— (dashed red)	フラット方式	● (red)	有効幅員2m以上
— (solid purple)	緑石・白線がなくガードレールのみ		



<歩道：すりつけ段差・すりつけ勾配>

- ・ 区道 H47 号線に交差する道路の多くの箇所が段差基準、勾配基準を満たしていません。

凡 例	
交差点のすりつけ部	
● (red)	すりつけ段差が2cmを超える
○ (white)	すりつけ勾配が5%を超える



<歩道：横断勾配>

- ・ 特に問題となる箇所はありません。

凡 例	
横断勾配	
● (red)	1%を超える

イ 地区別方針

- ・ 駅舎にエレベーターやだれでもトイレを設置し、バリアフリー化していきます。
- ・ 駅前広場機能の確保を検討していきます。
- ・ 駅周辺に広がる商店街と呑川緑道の歩行空間のバリアフリーネットワークを形成します。
- ・ 整備計画の作成にあたっては、世田谷区と連携していきます。

<主要施設>
 東京工業大学

<主要経路>

- ・ 駅と主要施設を結ぶ経路
- ・ 呑川緑道と、駅と緑道を連絡する経路
- ・ 駅周辺地区の商店街に含まれる経路

対象となる商店街：緑が丘商店会、緑が丘二丁目商店会

主要施設・主要経路イメージ図

